

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	地学第二		
英文授業科目名	A t o m o s p h e r S c i e n c e		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	昼間・夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門共通科目-自由科目		
開講学科・専攻	電子工学科 量子・物質工学科		
担当教官名	酒井 彰（学内連絡教官 和田 節子）		
居室	独立行政法人産業技術総合研究所成果普及部門地質標本館		

公開E-Mail	授業関連Webページ
sakai.a@aist.go.jp	

【主題および達成目標】
教職課程の教科「理科」に関する専門科目として、地学に関する分野での必要最低限の知識を修得することを目標とする。

【前もって履修しておくべき科目】
高等学校において「地学」を選択・履修していないものが多いと思われるが、高等学校で履修する程度の参考書を、あらかじめ自習しておくことが必要である。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
教科書：西村祐二郎・鈴木盛久・今岡照喜・高木秀雄・金折裕司・磯崎行雄著：「基礎地球科学」、朝倉書店。 参考書：アーサーホームズ原著上田・貝塚・兼平・小池・河野訳：「一派地質学1、2、3」、東京大学出版会、酒井治孝：「地球学入門」、東海大学出版会のほか、地学関連の新書版などを推薦する。

【授業内容とその進め方】
第1回 地球の概観。地球の構造（大陸と海洋、内部構造、プレートとブルーム） 第4回 地殻の物質（地殻、鉱物、岩石） 第7回 地殻の変動と進化（火山活動、地震、造山運動、風化と侵食、運搬と堆積） 第10回 地球の歴史（地質年代と地質年代尺度、生物の起源と進化、日本列島の地質）、地球

電気通信大学 平成16年度シラバス

環境と資源・災害

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

レポートおよび期末試験の結果を、次のように総合評価する。

成績評価 レポート 50%

期末試験 50%

(b) 評価基準：

最低達成基準：講義の内容をほぼ理解していること。レポートが受理されていること。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

上記の講義内容によれば、教科書の記述分で毎回平均10~15ページの進行速度となる。学生は予習を十分に行い、また復習についても配付資料を中心にして理解することが望ましい。

【その他】